

巻頭のご挨拶

公益財団法人 愛知県アイバンク協会
理事長 寺崎 浩子



大混乱を巻き起こしたコロナ禍はようやく一段落し、日常生活が帰ってきました。医学的にはすっかり安心とは言えないまでも、街は賑わい、様々なイベントも復活しています。失われた時を取り戻そうとしているかのようにです。

しかし、世界に目を向けますと、ウクライナ戦争は終わりが見えず、パレスチナ・イスラエル間においても悲惨な争いが続いています。残酷な暴力の連鎖がさらに未来にも続いていくのか、人類はいつまでも同じ過ちを繰り返すのかと想うと本当に悲しくなります。

また、この元日には能登半島で大地震が起き、被災地の方々は大変な被害を受けました。心よりお見舞い申し上げます。東海地方においても南海トラフ地震発生の可能性が年々高まっていると繰り返し言われています。近年の風水害や猛暑のみならず、地震に対しても十分な備えをしておかなければならないと痛感しています。

さて、当協会は、昭和50年8月の発足以来、この令和5年12月までで献眼登録者は144,336名となり、ご献眼いただいた方は6,504名を数えます。また、8,933名の方が角膜移植により視力を回復され、社会復帰をされております。これもひとえに、尊いご遺志によりご献眼いただいた方々、またご献眼にご同意をいただきましたご遺族様のお陰であります。心より感謝申し上げる次第でございます。

当協会の事業実績は全国のアイバンクの中でトップクラスとなっておりますが、県内7つの眼球摘出医療機関、365日24時間対応で連絡に当たっていただいている愛知県救急医療情報センター、眼球提供者の登録にご尽力いただいている公益財団法人不老会、各ライオンズクラブ、さらには愛知県

眼科医会等々、関係する多くの方々の格別なるご支援の賜物であります。改めて、厚くお礼申し上げます。

当協会の事業は、令和2年度及び3年度はコロナにかかる緊急事態宣言や行動制限もあり眼球摘出業務や献眼登録等に大きな影響を受けましたが、現在は、摘出や角膜あっせんの件数は大分持ち直してまいりました。

しかし、角膜数はまだ十分とは言えず、摘出用資材費や交通費を始め運営に要するあらゆる費用が高騰していることで、協会の財政は逼迫してきています。今の情勢を考えると経営環境は今後も厳しくなるものと予想され、危機感を覚えているところです。

このような難題を抱えてはおりますが、移植手術を待っておられる方は常に200名程度おられることから、アイバンク事業を持続し、充実していかなければなりません。一人でも多くの方に光を取り戻していただくことが当協会の使命であります。

どうか関係の皆様には今後ともアイバンク事業の意義をご理解いただき、一層のお力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。挨拶とさせていただきます。



令和5年度 目の愛護デー記念式典開催

「令和5年度目の愛護デー記念式典」を令和5年10月13日（金）、名古屋市千種区のいちやなぎ中央斎場において、愛知県、名古屋市、愛知県医師会、名古屋市医師会の後援を得て、献眼者ご遺族、ライオンズクラブ、不老会、行政機関並びに関係団体の方々のご臨席をいただき開催いたしました。

式典は本協会の中村誠専務理事の「開式のことば」で始まり、アイバンク開設以来令和5年3月までにご献眼いただいた6,428名の御霊に参列者全員による黙祷をささげました。



続いて、本協会の寺崎浩子理事長が主催者を代表して、献眼者及びご遺族様のご理解と御協力に対し、謝意を述べました。



その後、献眼者のご遺族様が、白い菊に囲まれた「献眼者之零位」に順次献花され、寺崎理事長から厚生労働大臣の感謝状と記念品を受け取られました。



次に、来賓の愛知県保健医療局技監 長谷川勢子様から大村秀章愛知県知事のご挨拶、名古屋市健康福祉局医監 小嶋雅代様から河村たかし名古屋市長のご挨拶、公益社団法人愛知県医師会理事 河村英徳様から愛知県医師会会長のご挨拶をいただきました。



また、来賓としてご出席いただいた公益財団法人不老会常務理事 杉山雄彦様、ライオンズクラブ国際協会334-A地区保健・福祉委員長 磯村延宏様を紹介し、厚生労働副大臣 濱地雅一様からのメッセージを披露しました。

最後に、当アイバンク開設以来これまでにご献眼いただいた方々の御霊に対し、参列者全員が献花し、本協会の加藤史典常務理事の「閉会のことば」をもって式典を終了しました。

メッセージ

厚生労働副大臣 はまち まさかず 濱地 雅一様

目の愛護デー記念式典の開催に当たり、御挨拶申し上げます。

はじめに、角膜移植につきましては、崇高なお気持ちによる献眼によって支えられており、目の不自由な方々に希望の光を贈られ、新たに人生の輝きを与えて下さった方々の御冥福をお祈りするとともに、御家族の皆様の献眼への御理解に心から感謝申し上げます。

皆様のご尽力により、全国のアイバンクを通じ、これまでにご献眼された方は平成9年以降では約2万2千名となり、昨年度には約8百件の移植がなされ、多くの方が光を取り戻されていると伺っております。

公益財団法人愛知県アイバンク協会の皆様や、愛知県眼科医会の皆様など、関係者の方々におかれましては、日頃よりドナーの方やその御家族の方の尊い御意思を生かすため、多大な御貢献をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

厚生労働省といたしましては、国民の皆様の御理解がより一層深まるよう啓発活動を進めるとともに、角膜移植を希望している患者さんが一人でも多く、移植を受けられるよう、移植医療施策を推進してまいります。

今後とも、皆様のご理解と御協力を賜るとともに、移植医療が更に発展することを祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

令和5年10月13日



愛知県アイバンクと私の勤める眼科杉田病院との関係は歴史が古く、それは愛知県アイバンクの開設前に遡ります。昭和40年頃、当時角膜移植でしか治せない患者を多く診ていた当院2代目院長の杉田慎一郎は、不老会初代会長の久野庄太郎氏と眼科三宅病院の三宅寅三先生とともにアイバンクの前身組織を立ち上げたと聞いております。その後、名古屋大学の市川宏教授が県アイバンク設立に主導的役割を果たされ、昭和51年に既に設立されていた愛知県眼衛生協会によりアイバンク事業が引き継がれ、後の愛知県アイバンクの礎となりました。当院における角膜移植は、祖父・慎一郎が始めた後父・潤太郎が、そして、現在は私が後を受けて行っております。令和4年の当院での角膜移植は202件となり、私が開始してからは最も多くなりました。

最近の角膜移植は角膜の部分移植、いわゆるパーツ移植と呼ばれています。特に最近20年は角膜内皮移植の進歩が目覚ましいものがありました。2000年代後半から広まった角膜内皮移植（DSAEK）は、提供頂いた角膜をマイクロケラトームという機械に固定して薄くカットすることで内皮移植片を作成して行います。適切な大きさの強角膜片があれば対応出来ます。当院でも2000年代前半からこの術式を導入し、全て自前で移植片を作成してきました。このカットされた残りの角膜は冷凍保存され、必要時に表層角膜移植（LKP）として使用されます。また手術方法は更に進歩し、近年当院でも行っているデスメ膜移植（DMEK）は、角膜から内皮細胞のついたデスメ膜だけを剥がして移植します。そうするとデスメ膜を除く角膜組織が残り、本体である角膜実質と、角膜周囲を取り囲む輪部組織が残ります。角膜感染症や外傷などにより角膜穿孔やそれに準じた状態になってしまった方に対して、DMEKの残りの角膜実質を表層移植（LKPあるいはDLKP）として使用させて頂きます。また角膜輪部機能不全の方には輪部組織を移植する輪部移植や強角膜片移植などの手術が行われます。こうすることで一つの角膜で最大3名の方へ手術が

出来ることになり、提供頂いた角膜は、工夫しながら有効に活用させて頂いております。

とはいえ、当院における移植の半数近くは海外ドナーを用いて行われており、日本全国で見ても角膜ドナーが大きく不足しているのが現状です。愛知県アイバンクのHPでは年度別提供数などを公開していますが、これによると愛知県アイバンク活動はコロナ対策下に大きく落ち込み登録者、献眼者とも減少し、昨年度からまた回復の兆しがあるものの戻っていないというところですが、コロナ対策下における急激な角膜提供数の減少ゆえに、当院においても移植待機患者数は年々増加しております。以前は1年以内に移植を受けられる方がかなりいましたが、現在では約2年待ち、長いと3~4年待つこともあります。この内訳を見ると、約半数が水疱性角膜症あるいは再移植の方で、内皮移植の待機数が多いことが分かります。というのも他人の角膜内皮を移植した場合、どうしても生理的な反応で持続的に内皮細胞は減少し続け、将来的に再移植が必要になるからです。前号で再生医療の進歩について寄稿がありましたが、内皮細胞注入療法が将来的に国内に定着することが出来ると愛知県の待機患者さんの約半数を減らせることとなります。そうすると需給のバランスが取れ、愛知県のアイバンク活動は持続可能な仕組みを維持出来るだろうと思われれます。従来から行われている全層角膜移植（PKP）あるいは混濁や変形した実質だけを取り換える深層層状移植（DLKPあるいはDALK）は今後もなくなるという手術だと思えます。DALKはある程度技術が必要な難度の高い手術になり私は何とか受け継ぐことが出来ましたが、この技術は継承していくことが今後求められます。

最後になりますがアイバンク活動に日頃ご協力頂いております関係者の皆様、先生方、ご遺族の皆様、いつも有難うございます。私も皆様から繋がれたバトンを受け、移植を待つ少しでも多くの方に光を届けられるよう、引き続き邁進していきたいと思えます。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

献眼者

ご遺族 の手記

● 先人の役割

(養老町) 日比 知江

父が他界して2年が経ち、昨年末3回忌を無事終えることができました。

思い出してみれば、医者であった叔父の葬儀に行き検体に立ち会った父母達が、その後、検体に登録すると言い出した。あの時私は、二十歳。私しか血縁の濃い1親等はいない家系で父母達が死んですぐに遺体が無くなるのが納得できず、どうしても印鑑を押せずにいたら、叔父の所に行き話を進めてしまった父母達でした。なんだか寂しく思っていた事を覚えています。

あれから35年…。

父の死に立ち会い、命のあり方、家族とは…感慨深いものがありました。最後は、早く楽にさせてあげたい。病棟の父の姿を見るのが辛い日々。

最後は、あっけなくあつという間に終わってしまったという印象で、病院から検体の病院の車やアイバンクのお医者様がいらっしや、父の遺体とあつという間にお別れをし、これで父の選択した死の形は、目の見えない人を助け、私たち家族の負担を軽くして、母の念願の家での葬儀もできて、父は満足してしてくれるのだと思っています。

一番私を大切に思ってくれた父は、死を以ても私の味方だと実感した事があります。今、私は世界中どこにもない商品を出す事業に一人で取り組んでいる。

私も父も一人っ子。葬儀に呼ぶ親戚も数人しかいない中、いつも新家のおばさんがいらっしやるのに、この時にその子供である私の又従兄弟が来るようになった。ご縁様がいらっしや、これから始まろうとした時、電話がかかった。又従兄弟が車のエンジンがかからず、近くのホームセンターにいるとの事、私がそこまで迎えに行くことになった。

又従兄弟を乗せて、走り始め、家までたった5分の時間だったのに、なぜだか又従兄弟が特許を取った時の話やそれに興味を示してくれたのは、うちの父だった事を話してくれた。ちょうど、私も特許事務所を探していた時だったので、話は盛り上がり無作為に探したところでダメだよと又従兄弟が使った事務所を紹介してくれた。そのお陰で、特許が異例なくらい早く取得でき、クラウドファンディングを経て、晴れて世の中に出すことができた。この奇跡は、父が導いてくれた事と結びつけずにはられない。

私は、ずっと父が私のそばで応援してくれていると思い、事業を手がけて3年半、やっと国内でもお医者様にも認めていただけ一人ずつですがお客様ができ、海外にも評価してもらえ、契約が結べそうなどころまで来ることができています。まだまだこれからですが、一歩ずつ進められているのは父や周りの方々のおかげだと感謝して毎日を過ごす日々を送っております。最近思うのですが、私たちはいかにして我が子やそのまた子供達により良い人生の価値観を養ってあげられる見本を残してあげられるかではないかと思えます。



日比様ご夫婦(左側が今回ご献眼の重春様)

● 「相棒」と「戦友」の旅

(名古屋市) 小田 紀子

角膜移植は尊い善意の献眼とそれに携わる「アイバンク事業」のご尽力に依るものと、深謝申し上げます。

相棒(洋之)と戦友(筆者 紀子)の旅は、東京オリンピックが開催された1964年11月3日に幕を開け、2021年8月11日幕を閉じた。相棒は85歳であった。

代々、東京・歌舞伎座近い築地に私は生まれ、相棒は名古屋に生まれ育った。

結婚後間もなく、New Yorkの音楽学院に留学、修了した私は、東京の大学で助教授として仕事に就いていた。数年後、

相棒がSan Francisco駐在を命じられ、妻同道の社則により、大学を休職、相棒に同行したのであった。

駐在期間終了後、依願退職。我々はそれぞれの目的を持ち、既にアメリカ駐在中に、Australia永住権を大使館から受け、San Franciscoから日本へ帰国せず、直行した。

San Francisco時代は、華やかな付き

合いも含め、毎日が多忙であった。そのような中で、相棒がナビゲーター、戦友の私は愛車を駆って、アメリカ大陸横断をしたものであった。

一人娘の私は父の没後、母一人を日本へ置き去りには到底できず、加えて母は染色美術家として認められ、文部大臣賞受賞作家であった。そのため、相棒の駐在当初から、母を海外へ連れ出した。

70歳代の母は、昔から年末年始には海外へ出かけるほどに海外志向であった。しかし年齢には勝てず、僅かながら認知症を発症、折には、娘の私も婿も見分けがつかないことが多く、Sydneyで暮らし始めた頃は徘徊が始まり、Nursing Home（日本の高齢者滞在施設）へ入所して間もなく失語症、86歳の人生を閉じた。

日本の大学の職を離れた私はシドニー工科大学大学院に入学、音楽療法科に学び、修了後オーストラリア認定音楽療法士として、オペラハウスに近い公立病院の精神病査定病院に職を得た。その病院は60歳以上の入院患者を収容、高齢者施設入所、精神病院、社会復帰の査定を行う病院であった。

相棒は自分の目的の仕事のほか、13世紀イギリス発祥のLoan Boulds（芝の上で、偏心ボールを使って競技をするスポーツ）に、スポーツ愛好家の相棒はたちまち夢中になり、当然技術も向上、日本から輸

入した?優秀なBowlingplayer!!として愛された。そして、地元の人々との交流を深めて過ごした。

そうしている間に、相棒が前立腺癌発症、手術、治療を現地の医療機関で受けた。

最後は日本で過ごさせたいと、10年勤務した病院を退職、日本へ帰国したのが2005年であった。

身内の無い私、相棒も同様に長い海外生活で友も高齢、他界という日本で、他人様へ迷惑を掛けぬ身の処し方を見つけなければ。その時に知ったのが、「献体」「献眼」であった。

お役にたてればと即断、名市大医学部で受理された。

後に、名市大大学院研究員として今日まで研究活動の機会を得られるとは、考えもしなかった事であった。

相棒は地元の高齢者スポーツ促進に、前述のLoan Boulds普及活動に、名古屋、神戸、東京と奔走して過ごした。

しかしながら、病魔は留まる気配なく、コロナの最盛期、面会不可の折から、聖霊病院の計らいで、Palliative Care（緩和ケア病棟）へ移され、相棒の傍らへ付き添い、数日の意識混濁状態の後、安らかに神の御許へ。

深夜にも拘わらず、アイバンクから眼球摘出に駆けつけ、温かいお言葉を掛けて頂いたことは、いまだに忘れることが出来ない。

長い年月を「相棒」・「戦友」と呼び合い、励ましあい、苦楽を共にできたことは、幸せの一語に尽きるであろう。

今、残された私の最後の仕事として、認知症予防対策のために、今年度の研究員研究課題に、音楽療法、リズムを伴う身体反応運動促進、回想療法を併せた研究を計画している。

一日でも長く続けられることを、祈る日々である。

● 母が亡くなって

(名古屋市) 早野 未知枯

母が亡くなってもうすぐ2年になります。

97歳まで生きましたので、長寿だったと思いますが、その生涯のうちには、戦争もありましたし、随分いろんな苦労があったのだらうと思います。そして残された何枚かの写真を見て、母も若い頃があったのだなあ、と…（アタリマエですね）

母は大正末期の生まれでした。

大正、昭和、平成、令和と4つの時代を生きたわけです。

希望に燃えて旧満州に渡った祖父の後を追って、女学校を卒業してすぐ、単身、下関から船に乗って向こうへ渡ったそうです、そのことを聞いたときは、度胸あるなあと感じたものです。

旧満州での暮らしは何年間かは幸せでしたが、だんだん日本の旗色が悪くなり、最終的に日本は戦争に負け、負ければ敵国、今までの恵まれた生活とは打って変わって、不安と混乱の中で、日々を過ごし、日本へ命からがら引き上げた訳ですが、持って帰るのを許された荷物は、各々がひとりで背負える分だけ、とのことで、祖母が布団袋をこわして大きなリュックサックを作ってくれて、その中に大切な物から詰め始めたのですが、一杯詰め込むと重くて立ち上がれないので、誰かになんとか背負わせてもらったそうです。そうやって何とか日本に引

き上げ、そのうちに少しずつ世の中も段々治まって、父とご縁があっていっしょになり新生活を始めたわけです。

苦労の多い毎日だったそうですが、夫婦で力を合わせて、やっと人並みに平和に暮らせるようになり、忙しいながらも幸せな日々を送っていました。

しかし母が70代のとき、苦楽をともにした最愛の父に病気がみつき、その時には既になら病状は進行していて手のつけようがない状態でした。母はいつか絶望の淵に立たされたのですが、気丈にも何とか気持ちを持ち直し、随分献身的に看病を続けていました。しかし、結局、父は助かりませんでした。

父が亡くなった当初、母はひどく落ち込んで、「まるで自分の体の一部をものがれるようだ、私も死んでしまいたい」と、痛々しく見ているのが辛いほどでしたが、おかげさまで、少しずつ立ち直ってくれて、その後20年以上、なんとか元気に生きてきました。

母は随分前から、自分が亡くなったら、献眼と献体を、と希望していました。自分の父親もまた、同じことをしていましたので、その影響かと思います。

母は他の人が困っておられると、ほうっておけない人で、よくそういう方達のところへ心配をして出かけたりしていました。

世の中には、目が見えなくて困っている方が、随分たくさんおられる。自分は近視ではあるけれど、おかげさまで矯正すればなんとか見える、感謝しなくては、とよく言っていました。

母はもうこの世におりませんが、母の目がどなたかのお役に立って、その方がお元気で暮らしておられるのなら、母もきっと、とても喜んでくれていると思います。そしてそう思うと私もなにか嬉しくなります。

なにしろ、もったいない、が口癖の、無駄使いの嫌いな母でしたから、多分、両親からももらった目も無駄にしたいくなかったのではと思います。

できることなら、また母に会って、色んな話を聞いてほしいし、母のことも沢山聞きたいです。

きっと何時間も、いや、何日もかかると思いますが。



田中みどり様

献眼 ありがとうございます

令和5年1月1日から12月31日の間、99名の方に献眼していただきました。
心から感謝申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。(敬称略)

(歳)

ご尊名	年齢	ご尊名	年齢	ご尊名	年齢	ご尊名	年齢
故 安藤 三夫	93	故 小栗 紀子	90	故 山崎 親雄	79	故 生駒 敏子	90
故 大場 洋子	80	故 匿 名	96	故 大羽知津子	88	故 近藤しず子	91
故 匿 名	56	故 匿 名	82	故 木山恵美子	84	故 北山 忠生	89
故 山本 タケ	99	故 山口はる代	80	故 吉川 政司	86	故 長谷川崇江	88
故 大坪タエ子	97	故 福田 峰明	54	故 山村 五生	75	故 匿 名	64
故 川村 裕子	76	故 匿 名	76	故 水野 哲枝	85	故 豊嶋 英男	81
故 濱嶋 市江	99	故 松本 五雄	85	故 匿 名	73	故 中川 隆一	76
故 後藤 貞子	91	故 大前 勇	96	故 匿 名	81	故 匿 名	104
故 山本 光夫	90	故 匿 名	97	故 赤座 澄子	97	故 杉山 嘉子	83
故 浅井 正行	93	故 菅沼 政治	85	故 杉江今朝光	70	故 鳥山 竹子	74
故 匿 名	73	故 伊藤 朗	90	故 匿 名	84	故 原田 義一	88
故 篠田 豊	83	故 吉田 洋朗	83	故 匿 名	15	故 匿 名	61
故 池末 三枝	76	故 匿 名	81	故 匿 名	30	故 匿 名	79
故 砂掛 光正	84	故 匿 名	79	故 清水 辰成	58	故 高橋 菊枝	90
故 匿 名	83	故 匿 名	45	故 今泉 角夫	76	故 匿 名	100
故 匿 名	94	故 猪飼ます子	88	故 清水ミネ子	87	故 木村 尚文	84
故 匿 名	83	故 亀山 総子	88	故 匿 名	78	故 匿 名	92
故 岡谷 慶子	68	故 山内 寿夫	74	故 澤田 鈴男	89	故 柏木 旦子	81
故 黒田 龍雄	91	故 神谷 武尊	92	故 林 隼人	95	故 匿 名	94
故 山本 定男	88	故 内山 加代	96	故 鈴木加代子	88	故 匿 名	89
故 柴田 明	75	故 匿 名	86	故 平松富久江	93	故 富田 満	89
故 匿 名	77	故 尾前 節子	103	故 横田 正春	74	故 匿 名	92
故 匿 名	70	故 安達 篤	96	故 匿 名	100	故 匿 名	70
故 匿 名	88	故 藤原登志彦	95	故 神原 昭嘉	84	故 大野 隆幸	39
故 原 年江	81	故 匿 名	87	故 蒲原 正行	75		



献眼についてのごお願い

献眼登録者が逝去された時は、ご遺族様などの関係者は、すぐに下記の連絡先までご連絡ください。24時間体制で待機しています。
眼球の摘出は、死後6時間以内(冬期は12時間以内)に行わないと、使用できなくなりますので、すぐにご連絡ください。
なお、献眼登録をしていなくても、ご遺族様の同意があれば献眼することが可能です。その場合も、ご連絡ください。

連絡先

愛知県救急医療情報センター アイバンク窓口
TEL (052) 262-1100

臓器移植法が改正され、平成22年1月17日から、親族に対し、角膜を優先的に提供したいという意思表示をすることが可能となりました。
(提供できる範囲は1親等で、待機患者として登録されていることが必要です。)

角膜移植を受けられた方からのお礼の手紙

角膜移植手術を受けられた方々から、公益財団法人不老会あてにたくさんのお礼状が届いております。その中から令和5年にいただいたものの一部を紹介させていただきます。

日に日に厳しい寒さも和らぎ、庭でうぐいすの鳴き声が聞こえるようになりました。

この度は、角膜の提供をして頂きありがとうございました。

生活に不便を感じる毎日でしたが、今は手術を受けることができたことに感謝申し上げます。

これからは、いただいた角膜を大切に、一緒にいろいろな美しいものを見たいと思います。提供してくださった方と二人で人生を楽しみたいと思います。

ご提供者様、そのご家族の皆様、本当にありがとうございました。

(匿名 2023.3.6)

拝啓 この度は角膜の提供を頂きまして誠にありがとうございました。

怪我による目の不自由に半ば諦めの気持ちもありながら、日々進歩していく医療に少なからず希望の気持ちも感じておりました。

改めまして、今回、角膜の提供を頂きました方、そして御尽力をいただきました方々に心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました

敬具

(匿名 2023.9.15)

この度は、83歳の父の目に角膜を提供頂きましてありがとうございました。

長い間、視力が悪く、また視界も狭く辛い日々でした。今は大変調子も良く生活が送っております。

本当にありがとうございました。

(匿名 2023.8.31)



公益財団法人 不老会

医学のため 遺体を提供

私どもは、生をうけた以上、十分働き、楽しんで長寿を全うしたいものです。長寿を全うしたのちは、遺体を提供し、社会のために尽くすのがこの会です。大学の医学部・歯学部では、不老会よりの遺体で、学生の教育に当たっておられます。あなたの入会をお待ちしております。

事務所

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目 10-19
名古屋商工会議所ビル 6階
TEL 052-203-4580

ご寄付ありがとうございました

(令和5年1月1日から令和5年12月31日まで)
合計 995,167円
(敬称略、金額順)

名倉 幸男	150,000円	埴崎 ひかり	5,000円	鈴木 良介	3,000円
前野 月子	100,000円	伏木 智子	5,000円	滝沢 信一	3,000円
つばめ交通協同組合	56,247円	松井 静枝	5,000円	竹岡 保幸	3,000円
奥田 博行	30,000円	松本 武夫	5,000円	棚橋 千津子	3,000円
株式会社リイツメディカル	30,000円	山本 すわ子	5,000円	谷原 實	3,000円
近藤 弘行	30,000円	山本 康裕	5,000円	長坂 和幸	3,000円
鈴木 より子	30,000円	横井 壮汎	5,000円	祢宜田 美治	3,000円
橋本 玲子	30,000円	吉野 和子	5,000円	林 伸二	3,000円
匿名	30,000円	青井 邦夫	3,000円	保田 修司	3,000円
岩瀬 文雄	20,000円	阿由葉 くみ子	3,000円	松井 幸子	3,000円
大澤 寛	20,000円	石黒 久夫・石黒 眞理	3,000円	山本 安江	3,000円
片岡 克己	20,000円	岩瀬 綱子	3,000円	吉田 三千代	3,000円
篠原 謙一郎 (2回分)	20,000円	内田 光子	3,000円	吉見 正文	3,000円
加藤 和男	12,000円	大河内 純子	3,000円	匿名	3,000円
鈴木 亨	11,000円	大島 キヌ	3,000円	加藤 史典	2,420円
渥美 敏梧	10,000円	大林 智彦	3,000円	麻藤 美佐子	2,000円
宛名印刷機製造株式会社	10,000円	岡田 信吾	3,000円	上野 修	2,000円
大鳥 滋子	10,000円	門田 美佐子	3,000円	大西 良信	2,000円
小野 泉	10,000円	甲野 かつ子	3,000円	梶本 昇	2,000円
河津 みどり	10,000円	小林 光成	3,000円	鈴木 かづ子	2,000円
清水 克幸	10,000円	駒澤 美都男	3,000円	都築 勝・都築 三沙子	2,000円
杉山 和子	10,000円	小松 馨子	3,000円	林 玉子	2,000円
田中 幸子	10,000円	近藤 郁穂	3,000円	堀口 節子	2,000円
中田 寿美男・中田 まり子	10,000円	坂野 正康	3,000円	山内 季美枝	2,000円
名古屋医師協同組合 名古屋臨床検査センター	10,000円	笹岡 千秋	3,000円	匿名	2,000円
花井 弘子	10,000円	佐藤 精一	3,000円	匿名	2,000円
宮田 直美	10,000円	佐藤 まつの	3,000円	吉村 昭正	1,500円
山本 勝彦	10,000円	七ツ村 繁	3,000円	安藤 美世子	1,000円
匿名	10,000円	神野 康明	3,000円	相賀 貞	1,000円
大見 俊行	7,000円	杉浦 義雄	3,000円		
天野 賢一郎	5,000円	鈴木 文子	3,000円		
石濱 里香	5,000円				
岩瀬 美佐子	5,000円				
大高電気株式会社 大高 敏睦	5,000円				
大羽 周次	5,000円				
小笠原 かよ子	5,000円				
岡田 尚子	5,000円				
寛 八郎	5,000円				
加藤 節子	5,000円				
木村 節子	5,000円				
久保田 将夫	5,000円				
栗原 美枝	5,000円				
杉本 玲子	5,000円				
高津 康寿	5,000円				
高野 利恵子	5,000円				
野田 みや子	5,000円				

角膜移植って?!

- 角膜は眼球の最前部にある黒目と呼ばれる透明な組織です。角膜の病気としては円錐角膜・水疱性角膜症・細菌またはウイルス感染症・角膜白斑・角膜変性症・ジストロフィ・外傷など様々ですが、このような病気や外傷で白く濁ってしまった角膜を透明な角膜と取り替える手術を角膜移植といいます。
- 角膜が透明であれば、近視・遠視・乱視・老眼・白内障・緑内障に関係なく献眼ができます。年齢制限は全くありません。
- 感染の恐れのある病気での死亡の場合は献眼できない場合があります。



角膜移植は
人から人への
愛の光の架け橋

募金へのご協力ありがとうございました

(令和5年1月1日から令和5年12月31日まで)
合計 3,006,480 円
(敬称略、五十音順)

【ライオンズクラブ】

愛西ライオンズクラブ	30,000 円
安城南ライオンズクラブ	115,576 円
津島ライオンズクラブ	31,786 円
弥富ライオンズクラブ	15,315 円

【一般】

愛知県眼鏡小売商協同組合	175,280 円
--------------	-----------

【眼科】

愛知医科大学病院	26,642 円
青山クリニック	5,000 円
朝倉眼科クリニック	16,149 円
浅野眼科クリニック	18,828 円
味噌眼科	15,034 円
あじま眼科クリニック	34,262 円
アスナル金山眼科	13,021 円
有木眼科クリニック	52,600 円
有松眼科	1,890 円
池間眼科	7,000 円
一宮西病院	18,692 円
いとう眼科	11,125 円
犬山駅西病院	11,950 円
今井眼科医院	5,000 円
今泉アイクリニック	2,561 円
岩澤眼科	7,427 円
いわた眼科クリニック	2,170 円
宇佐美眼科	7,000 円
おおいし眼科	38,480 円
大鹿眼科	28,851 円
太田眼科医院	26,428 円
おおぶ眼科クリニック	23,000 円
おがき眼科クリニック	24,826 円
小野田眼科医院	36,000 円
かいせい病院	31,024 円
かぐやま眼科	48,879 円
かちがわ眼科クリニック	4,127 円
かとう眼科	3,000 円
加藤眼科医院 (西尾市)	7,617 円
かとう眼科クリニック	12,418 円
からき眼科クリニック	9,700 円
刈谷豊田総合病院	20,555 円
河合眼科	19,419 円
川本眼科	5,517 円
眼科宇野クリニック	21,375 円
眼科杉田病院	106,467 円
眼科とうもとクリニック	4,965 円
眼科はせ川こうクリニック	3,673 円
眼科東山公園クリニック	10,825 円
眼科三宅病院	25,167 円
眼科山田クリニック	19,444 円
眼科やまもとクリニック	21,460 円
きくち整形外科眼科クリニック	10,000 円
北川眼科	9,265 円
桐洞眼科	11,489 円
工藤眼科クリニック	12,534 円
黒部眼科	33,050 円
桑山産婦人科・眼科	20,240 円
ゲートタワー眼科	8,894 円
小出内科眼科医院	10,000 円
こうさか眼科	12,563 円
厚生連 安城更生病院	3,998 円
厚生連 稲沢厚生病院	11,472 円

厚生連 海南病院	26,718 円
厚生連 渥美病院	3,616 円
こじま眼科	5,434 円
コスモス眼科	4,842 円
小牧平田眼科	13,000 円
酒井眼科医院	20,000 円
さくら整形外科・眼科	10,000 円
佐々眼科	30,250 円
さとし眼科クリニック	68,769 円
さぬき眼科	2,114 円
さもとクリニック	16,000 円
沢眼科クリニック	30,000 円
さわの眼科	2,000 円
しみず眼科クリニック	13,695 円
聖霊病院	2,763 円
堀眼科医院	5,568 円
しらい眼科	3,000 円
鈴木眼科	16,040 円
鈴木眼科医院 (幸田町)	30,000 円
スズムラ眼科医院	24,917 円
すみれ野眼科医院	69,254 円
説田眼科医院	34,850 円
セントラルアイクリニック	4,440 円
総合上飯田第一病院	36,571 円
泰玄会病院	45,906 円
たかぎ眼科クリニック	25,239 円
高橋眼科	7,196 円
タナベ眼科	14,716 円
田村眼科	3,453 円
中京眼科	31,428 円
津島市民病院	4,268 円
寺田眼科	24,826 円
どい眼科クリニック	11,490 円
常滑市民病院 眼科	16,043 円
とつか眼科	100,000 円
富田眼科クリニック	5,024 円
豊川たなか眼科	1,543 円
トヨタ眼科クリニック	26,000 円
豊橋市民病院	7,259 円
鳥居歯科眼科	12,494 円
長坂眼科	64,167 円
永田眼科クリニック	12,088 円
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	14,722 円
名古屋大学医学部附属病院	5,180 円
成田記念病院	12,861 円
南波眼科皮膚科	20,390 円
なんよう眼科クリニック	22,609 円
南陽病院	22,549 円
新美眼科医院	13,771 円

西尾市民病院	9,152 円
西垣眼科医院	38,721 円
日進眼科クリニック	27,300 円
丹羽眼科医院	34,000 円
則武眼科	2,547 円
はた眼科クリニック	6,000 円
はやかわ眼科	29,127 円
林眼科クリニック	12,469 円
ひまわり眼科	22,570 円
平岩眼科	27,893 円
藤田医科大学病院	2,454 円
ふなはし眼科	16,147 円
ほった眼科クリニック	29,995 円
本郷眼科クリニック	16,300 円
ほんじ眼科クリニック	1,759 円
まえだ眼科	34,796 円
松浦眼科	10,070 円
松本眼科	11,842 円
みこしば眼科クリニック	2,300 円
水上眼科耳鼻咽喉科	2,745 円
水谷眼科	16,000 円
水谷眼科診療所	9,475 円
水野眼科	42,999 円
ミッドランドスクエア眼科	33,635 円
緑丘アイクリニック	10,000 円
みやした眼科	27,000 円
むらかみ眼科クリニック	17,890 円
もとくら眼科	24,000 円
森眼科 (清須市)	8,126 円
森眼科 (弥富市)	9,351 円
森永眼科クリニック	8,451 円
守山眼科	2,884 円
安間眼科	4,890 円
山崎眼科	33,389 円
山林眼科	4,394 円
山本眼科	8,205 円
やまもと眼科	17,652 円
湯浅眼科	30,916 円
湯口眼科医院	5,437 円
横瀬医院	6,000 円
よしおか眼科クリニック	1,579 円
吉田医院	4,151 円
よしだ眼科	11,113 円
渡辺眼科クリニック (安城市)	5,463 円
わたらい眼科	4,700 円

【アイバンク】

(公財) 愛知県アイバンク協会 …… 500 円



この募金箱は県下の病院や眼科医院などに置いてあります。皆様のご協力をお願いします。

ご支援・ご協力いただいた賛助会員各位

(令和5年1月1日から令和5年12月31日まで)
 特別会員1口 30,000円
 通常会員1口 3,000円
 合計 3,693,000円
 (敬称略、五十音順)

特別会員									
ライオンズクラブ関係									
《60,000円》		豊田南ライオンズクラブ			豊橋ライオンズクラブ				
《30,000円》		愛西ライオンズクラブ			愛知さくらライオンズクラブ			海部ライオンズクラブ	
安城南ライオンズクラブ		一宮ライオンズクラブ			稲沢緑ライオンズクラブ			犬山ライオンズクラブ	
岩倉ライオンズクラブ		岡崎葵ライオンズクラブ			岡崎竜城ライオンズクラブ			岡崎フォレストライオンズクラブ	
岡崎南ライオンズクラブ		岡崎ライオンズクラブ			尾張旭ライオンズクラブ			春日井けやきライオンズクラブ	
春日井中央ライオンズクラブ		刈谷ライオンズクラブ			吉良ライオンズクラブ			江南ライオンズクラブ	
小牧ライオンズクラブ		瀬戸ライオンズクラブ			知立ライオンズクラブ			津島ライオンズクラブ	
常滑ライオンズクラブ		豊田東名ライオンズクラブ			豊田ライオンズクラブ			名古屋ウエストライオンズクラブ	
名古屋城北ライオンズクラブ		名古屋緑ライオンズクラブ			名古屋名南ライオンズクラブ			西尾東ライオンズクラブ	
西尾ライオンズクラブ		丹羽ライオンズクラブ			碧南ライオンズクラブ			弥富ライオンズクラブ	
医師会関係									
《30,000円》		大雄会第一病院 院長 伊藤康雄							
眼科関係									
《90,000円》		愛知県眼科医会							
《60,000円》		医療法人明眼会 西垣眼科医院			矢ヶ崎梯司				
《30,000円》		浅野 俊哉		井口 優子		池田 晃三		梅村 昌代	
大澤 毅		河合 卓哉		川部 幹子		杉田威一郎			
杉田元太郎		杉田征一郎		佐々美代子		鈴木 聡		鈴木 東光	
鈴木 裕之		塚田 明世		坪井 雄吾		中村 友昭		長屋 祥子	
新美 勝彦		丹羽 巽		原 修哉		前田 征宏		馬嶋 紘策	
松浦 雅子		三宅 謙作		三宅豪一郎		元倉 智博		安間 哲史	
会社・個人									
《30,000円》		加藤 貞男		ダイコク電機株式会社					

通常会員									
ライオンズクラブ関係									
《10,000円》		春日井さくらライオンズクラブ							
《6,000円》		高浜ライオンズクラブ							
《3,000円》		愛知Y.C.E.ライオンズクラブ			豊川中ライオンズクラブ			豊川ライオンズクラブ	
豊橋シニアライオンズクラブ		豊橋ちぎりライオンズクラブ			名古屋シニアライオンズクラブ			名古屋昭和天白ライオンズクラブ	
医師会関係									
《3,000円》		日本赤十字社 愛知医療センター 名古屋第一病院 院長				日本赤十字社 愛知医療センター 名古屋第二病院 院長			

眼科関係									
《27,000円》	富田 直樹	《24,000円》			安川 力	《18,000円》		久納 岳朗	富安 誠志
《15,000円》	河合 米子	高橋 正城	田中 秀典	長坂 智子	南波 史子	前田真理子	水野 友広	山田 麻里	
《12,000円》	小出美穂子	近藤 永子	近藤 由佳	佐野 雅洋					
《10,000円》	桐渕 恵嗣	澤 浩	武内 邦彦	長木 康典					
《9,000円》	石田 政也	上竹あゆみ	尾関 年則	黒部 直樹	小嶋 丈司	高橋 亜紀	竹内 廣	水谷 聡	
	山田 潔								
《6,000円》	井口 優子	市川 琴子	今泉 征子	岩田 美雪	宇佐美公康	牛田 宏昭	内田 英哉	兼子 裕規	
神谷 佳康	神原 行浩	京兼 郁江	工藤 大策	小柳 俊人	櫻井 康二	佐貫真木子	柴田 裕史	鈴村 文那	武田 啓政
田邊 竹彦	玉井 祐樹	寺崎 浩子	東本 栄治	戸塚 伸吉	中尾美由紀	永田 志麻	中村 富雄	新美 雅彦	西 満三代
西口 康二	西脇 晶子	野々部典枝	早川みどり	平岩 貴志	平岩 道正	堀 正剛	本部 千博	松田 淳平	三宅 武子
安田小百合	矢藤 仁久	矢藤 仁	山田 一義	山本健太郎	横尾 夏代	《5,000円》		中村 直人	
《3,000円》	青山 繁樹	青山裕美子	秋山 恵子	朝倉光太郎	浅野さやか	浅野 亮	芦荊 正幸	あじま眼科 クリニック	
荒井 北斗	安藤 寛	安藤 宏	池間 毅	伊島 亮	市田真理子	伊藤 文子	伊藤 光枝	伊藤 逸毅	稲見 英樹
岩澤 暁	岩田 恵美	岩味 未央	宇佐美有子	内田 智也	江崎 順子	江崎 淳次	太田 光	太田 由枝	岡田 夕香
岡戸 聡志	岡部 純子	小栗真千子	片山真理子	加藤 京子	加藤 舜健	加藤 大輔	加藤 広子	加藤 素子	加藤 良枝
金子 京華	瓶井 資弘	唐木 剛	川本 英三	川本 麻也	菅 由子	菊池 雅人	木全 一幹	木全 正嗣	木村 雅代
久保田敏信	黒川 幸延	小池絵実果	小池 晃央	小嶋 義久	小林 謙信	小林 千晶	小林 美帆	小南あおい	小南 太郎
小森知佳子	近藤 順子	近藤 奈津	近藤 瑞枝	近藤 三博	佐井 紹謙	榊原 友珠	榊原由美子	笹野久美子	笹野 信子
笹本 明生	佐藤 之英	佐野 正純	佐本 真澄	澤野 徹	島 貴久	島田 佳明	清水 桃	城山 敬康	末繁 葉子
末森 央美	杉田信太郎	杉田 美穂	杉野 太郎	鈴木 敦子	鈴木 俊光	鈴木 直子	鈴木 宏光	鈴木 福江	鈴木 美保
鈴木 祐子	鈴木 好人	関戸 康祐	平良 亮子	高橋 研一	高橋 慎一	滝 昌弘	武内 潤	城 通代	田中 浩人
田邊 和子	田邊 直樹	玉井 浩子	田村 富男	塚本比奈子	辻 恭子	土井 浩史	土井 崇之	東浦 功	東浦 賢
富田 遼	鳥居 良彦	長坂 誠	中沢 陽子	成相 由依	成田 祥子	新美 良子	西原 裕晶	楡 孝子	丹羽 敬
丹羽 英康	丹羽 美佳	丹羽 勇志	野村 秀樹	野村 僚子	芳賀 鉄也	橋本 和	長谷川 修	長谷川 公	長谷川知絵
服部かおる	服部 友洋	服部 博之	原田和加子	坂 隆裕	久田 廣次	平井 樹男	平井美加子	平井 陽子	平田 国夫
平田 文郷	平野 啓治	平野 耕治	平野 佳男	廣川 仁則	廣島 康二	廣瀬 浩士	舟橋 尚子	振本 常弘	古田 節子
堀田 和男	堀 和正	堀口 正之	本間 知佳	馬嶋 清如	三木 篤也	水口 忠	水野 泰子	宮木 恭子	宮木 健一
三宅 養三	三輪真奈美	村瀬 真由	空野久美子	森 佳月子	森 香夏	森 宏明	森 林平	盛岡 京子	森永 敏文
森永ゆい子	矢田宏一郎	藪下えり子	山崎 哲	山崎 淳	山崎 俊	山下 啓介	山田 敬子	山本 真之	山本 康明
結城 賢弥	湯口 修次	柚木 貢	横山 朝美	吉田 陽子	吉永 麗加	渡會 恒久			
会 社・個 人									
《15,000円》	株式会社 五和電気工業 相談役名譽会長 加藤和男				《10,000円》		大岡 正広	渡辺 武子	
《6,000円》	伊藤 勉	鶴海 俊孝	梅田 薫	《5,000円》		犬塚 恭子	奥村 順子	小池 和子	
《3,000円》	池田 宏一	伊藤 学	井上 正	大竹 昌	大塚 章子	萩野 邦夫	小田 紀子	可知 茂	
畔柳 東一	榊原 洋子	柴田 弘之	下村 幸裕	鈴木敬之助	高田 茂	田中 一字	田中 幸子	遠山 康孝	福井 智子
牧野 幸雄	水野ひろ子	矢嶋 申兌	山田 宣子	吉川 美雪	匿 名				

アイバンク活動にご協力を

賛助会員 { 特別会員 1口 (年30,000円) 以上
通常会員 1口 (年 3,000円) 以上
寄付金 お志し

提供して下さる方の募集や登録、目をいただきに行くための費用など多額の経費が必要となります。この経費は賛助会費収入、寄付金などでまかなっております。皆様からのご支援をお待ちしております。

寄付金(賛助会費を含む)に対して、申告により免税措置が受けられます。
寄付金などの振込は、振込用紙をお送りしますので、当協会までお問い合わせください。

公益財団法人 愛知県アイバンク協会

「緑内障の新しい手術治療」



名古屋大学大学院医学系研究科 准教授 結城 賢弥

緑内障の基本的な病態は自身の視神経が耐えられる圧力よりも眼圧が高いことによる視神経、視神経軸索の障害により網膜神経節細胞が死んでしまうことです。眼圧下降療法の基本は薬物治療ですが、最大量の治療を行っても眼圧下降が得られない場合や、視野障害が進行する場合は手術治療が必要となります。

患者さんから、緑内障は手術ができない病気と聞いたが手術ができるのですかと聞かれることがよくあります。緑内障手術の目的は眼圧を下げることで、視力を改善したり、視野を広くしたりすることはできないのです。ただし緑内障手術を医師に勧められた方は、手術をしないと将来的に視力や視野を障害してしまう可能性があるということになります。

緑内障手術は20年ほど前では、大きく分けて線維柱帯切除術、線維柱帯切開術の2種類しかありませんでした。それが現在は、線維柱帯切開術、今は流出路再建術という名前が多く使われるようになりましたが、流出路再建術だけでも糸やデバイスを利用した流出路再建術眼内法、線維柱帯にインプラントを留置するiStent inject W™、線維柱帯切除術の代わりとなる手術としては眼に穴をあける系列のエキスプレス®緑内障フィルターデバイス、アーメド緑内障バルブ®、バルベルト緑内障インプラント®、プリザーフロ®マイクロシャントとたくさんの選択肢が出現しました。ただ大きく分けると眼本来の房水排出機構を利用する手術が流出路再建術、それをある程度諦めてしまうのが目に穴をあける手術になります。

流出路再建術は、簡単にいうと線維柱帯を切ってしまう、とってしまう、もしくはチューブのようなものをさして眼内から集合管に直接、房水が流入するようにする手術です。線維柱帯が、房水流出抵抗のメインの原因である場合は、この手術により良好な眼圧下降を得ることができます。ただし弱点もあり、手術が効くか効かないか、やってみないとわからないのです。線維柱帯が原因で

眼圧が上がっているか、それより下流が異常で眼圧が上がっているかは、今の所手術を受けないとわかりません。また、手術のあと、一度眼圧が下がっても、手術前より眼圧が上がってしまう一過性眼圧上昇という現象も一定の確率で生じます。もともと視野が悪い方は、一過性眼圧上昇によりより視機能が悪くなってしまう場合があります。眼内に必ず出血してしまうことも、弱点です。iStent inject Wは他の流出路再建術と比較し、出血などの合併症が少ないことが報告されています。

穴をあけるタイプの手術はろか手術とも言われています。線維柱帯切除術は眼に数mmの穴をあけて、房水を結膜の下、強膜の上に流し出す手術です。眼圧下降効果は強力ですが、出血、低眼圧、感染など様々な合併症が生じます。また人間本来の傷が治る力で穴が塞がってしまうと、手術の効果はほとんどなくなってしまいます。最近、プリザーフロ®マイクロシャントという緑内障手術デバイスが発売されました。このデバイスは長さ8.5mm、内径70μmというとても細い管になります。詳細は省きますが、この管を眼に刺してやることで、房水が結膜と強膜の間に流れ込むようになっています。線維柱帯切除術に比較すると、海外ではやや眼圧下降効果に劣るとされていますが、日本からは比較的良好で安全な手術成績が報告されています。今後、普及するのではないかと考えています。



高眼圧の患者さんや、明らかに緑内障が進行する患者さんには、失明を防ぐために緑内障手術が必要になります。ただ合併症の多い手術ですので、手術を受ける際はリスクに関して術者の先生とよく相談されることをお勧めいたします。

令和4年度事業実績(主な概要)

- 1 登録者 255人
- 2 角膜提供者 111人
- 3 献眼者に弔電 6件
- 4 角膜移植待機患者(令和5年3月31日現在) 198人
- 5 角膜提供登録申込書付きリーフレット、ポスターの配布
- 6 会報「愛知県アイバンク」第68号の発行
- 7 眼球の安全性確保のための血液検査実施

登録者・献眼者・角膜移植数・待機患者数の推移(年度末)

【登録者】 (人)

年度	ライオンズクラブ	一般	不老会	計
平成25年度	205	81	322	608
26年度	143	38	286	467
27年度	250	55	421	726
28年度	311	39	349	699
29年度	217	45	233	495
30年度	196	49	311	556
令和元年度	165	34	301	500
2年度	22	16	138	176
3年度	4	34	146	184
4年度	23	32	200	255

【献眼者】 (人)

年度	ライオンズクラブ	一般	不老会	計
平成25年度	3	20	111	134
26年度	4	18	108	130
27年度	2	31	125	158
28年度	3	29	101	133
29年度	2	24	114	140
30年度	1	17	89	107
令和元年度	4	19	84	107
2年度	0	11	33	44
3年度	2	8	51	61
4年度	1	26	84	111

【角膜移植数・待機患者数】 (人)

年度	角膜移植数	待機患者数
平成25年度	204	107
26年度	200	114
27年度	219	124
28年度	215	130
29年度	235	136
30年度	190	175
令和元年度	208	172
2年度	138	214
3年度	156	206
4年度	224	198

令和4年度収支決算書

(円)

I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
科目	当年度
(1) 経常収益	
基本財産運用益	
基本財産受取利息	50,678
基本財産運用益計	50,678
特定資産運用益	
特定資産受取利息	64
特定資産運用益計	64
受取会費	
特別会員受取会費	2,400,000
通常会員受取会費	1,346,000
受取会費計	3,746,000
事業収益	
角膜等輪旋手数料	37,048,000
事業収益計	37,048,000
受取補助金等	
受取地方公共団体補助金	1,320,000
愛知県補助金収入	880,000
名古屋市補助金収入	440,000
受取民間補助金	1,000,000
愛知県眼科医会補助金収入	1,000,000
受取国庫助成金	701,030
受取民間助成金	112,760
日本アイバンク協会助成金収入	112,760
愛知健康増進財団	0
受取補助金等振替額	147,438
受取補助金等計	3,281,228
受取寄付金	
受取寄付金	987,500
募金収益	1,774,431
受取寄付金計	2,761,931
雑収益	
受取利息	110
雑収益	711,027
雑収益計	711,137
経常収益計	47,599,038
(2) 経常費用	
事業費	
給与手当	5,307,550
福利厚生費	1,288,079
旅費交通費	2,473,470
通信運搬費	670,689
減価償却費	2,891,083
消耗品費	4,712,620
印刷製本費	881,428
支払リース料	91,080
賃借料	165,270
保険料	197,429
諸謝金	15,000
租税公課	928,700
支払助成金	12,711,400
委託費	5,247,296
雑費	128,282
事業費計	37,709,376
管理費	
給与手当	6,867,482
臨時雇賃金(管)	0
退職給付費用	990,000
福利厚生費	1,702,548
会議費	35,471
旅費交通費	34,240
通信運搬費	176,324
減価償却費	178,095
消耗品費	282,687
光熱水料費	219,101
支払リース料	142,824
賃借料	113,400
保険料	4,015
租税公課	109,400
委託費	360,000
雑費	122,477
管理費計	11,338,064
経常費用計	49,047,440
評価損益等調整前当期経常増減額	▲1,448,402
評価損益等計	0
当期経常増減額	▲1,448,402
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲1,448,402
当期一般正味財産増減額	▲1,448,402
一般正味財産期首残高	135,309,713
一般正味財産期末残高	133,861,311
III 指定正味財産増減の部	
一般正味財産への振替額	
一般正味財産への振替額	▲147,438
一般正味財産への振替額計	▲147,438
当期指定正味財産増減額	▲147,438
指定正味財産期首残高	441,451
指定正味財産期末残高	294,013
III 正味財産期末残高	134,155,324

役員・評議員名簿 (令和5年12月末日現在)

職名	氏名	所属
理事長	寺崎 浩子	名古屋大学 特任教授
専務理事	中村 誠	愛知県眼科医会 会長
常務理事	湯口 幹典	愛知県眼科医会 顧問
	加藤 史典	ライオンズクラブ国際協会 元地区ガバナー
理事 (五十音順)	伊藤 逸毅	藤田医科大学 教授
	内田 康史	社福)愛知県厚生事業団 理事長
	瓶井 資弘	愛知医科大学 教授
	久野 格彦	公財)不老会 理事長
	近藤 永子	愛知県眼科医会 理事
	杉田征一郎	医)社団同潤会眼科杉田病院 副院長
	西尾 恒章	ライオンズクラブ国際協会334-A地区元キャビネット幹事、地区JSTコーディネーター
	西口 康二	名古屋大学 教授
	三宅豪一郎	愛知県眼科医会 理事
	安川 力	名古屋市立大学病院 主任教授
監事 (五十音順)	山田 久子	愛知県地域婦人団体連絡協議会 会長
	平岩 幸一	愛知県眼鏡小売商協同組合 理事長
評議員 (五十音順)	吉田 和裕	社福)愛知県社会福祉協議会 専務理事
	磯村 延宏	ライオンズクラブ国際協会334-A地区 保健委員長
	井上 敬康	愛知県眼鏡小売商協同組合 副理事長
	金子 芳博	社福)愛知県盲人福祉連合会 会長
	鈴木 聡	愛知県眼科医会 副会長
	鈴木みどり	愛知県地域婦人団体連絡協議会 副会長
	鈴木代四雄	公財)不老会 事務長
	杉田圭二郎	医)社団同潤会眼科杉田病院 医師
	塚田 利行	公財)愛知腎臓財団 事務局長
	土屋 仁	公財)愛知県アイバンク協会 前事務局長
	成瀬 友彦	一社)愛知県病院協会 理事
	平野 耕治	トヨタ記念病院 眼科部長
	安間 哲史	愛知県眼科医会 名誉会長

会のうごき (令和5年1月～令和5年12月)

- 1月17日(火)** ●東京第一ホテル錦
東海眼鏡協議会主催「新春互礼会・田中恭一オプティカルアワード授賞式典」に出席
- 1月21日(土)** ●熱田神宮
不老会「新年初顔合わせ会」に出席
- 2月17日(金)** ●本会事務局
常務理事会を開催
- 2月17日(金)** ●オンライン会議
全国アイバンク連絡協議会に参加
- 3月3日(金)** ●書面
理事会を開催
- 3月17日(金)** ●書面
評議員会を開催
- 4月21日(金)** ●本会事務局
愛知県補助金監査を受検
- 4月26日(水)** ●平和公園
1R・7R・9Rライオンズクラブ主催「献眼・献腎合同慰霊祭」に参列
- 5月12日(金)** ●平和公園
不老会主催「献体者顕彰式並びに御名札納式」に参列
- 5月15日(月)** ●本会事務局
監事監査を実施
- 5月26日(金)** ●本会事務局及びオンライン
理事会を開催
- 6月20日(火)** ●本会事務局及びオンライン
定時評議員会を開催
- 8月23日(水)** ●本会事務局
常務理事会を開催
- 8月29日(火)** ●ホテルプラザ勝川
ライオンズクラブ保健・福祉委員長会議に出席
- 10月13日(金)** ●いちやなぎ中央斎場
目の愛護デー記念式典を開催
- 10月26日(木)** ●名古屋市公会堂
不老会主催「不老会の集い」に出席
- 11月28日(火)** ●本会事務局
愛知県公益法人立入検査を受検
- 12月19日(火)**
救急医療情報センターが移転(県医師会館から旧名古屋
市医師会看護専門学校へ)

こちらに広告を掲載する企業様には、アイバンク事業に格別なご理解を賜り、
長年にわたり多大なご支援・ご協力をいただいております。

眼科医療の総合商社
～アイケアのコンシェルジュ～

眼科医療のお手伝いを通して患者様のお力になり、
地域社会に貢献できるよう
スタッフ一同努力していく所存でございます。
何かお困りの際は、ぜひ一度ご相談ください。



株式会社 Eyecon (アイコン)

〒463-0072 愛知県名古屋守山区金屋2-218
TEL:(052)778-7980 FAX:(052)778-7981
E-mail:info@eye-con.co.jp
URL:https://www.e-y-econ.com/

斜視・弱視訓練用眼帯
オルトパッド

世界中の眼帯を長年研究し、斜視・弱視と闘う子供達やご家族
の声を常に聞きながら、少しでも多くの子供達を救いたいとい
う思いで、ドイツのMaster-Aid社で開発され、子供の肌に優し
い貼る眼帯として世界中に販売しています。



前眼部 OCT

CASIA2
Advance

前眼部OCT CASIA2“Advance”
…それは進化の証し。

より広く、より深く、より美しくと進化してきた CASIA2。
そして今、Advance…一つの到達点がここに 있습니다。
他の追随を許さない、アプリケーションの数々。

「トータル解析」ライセンスキー（オプション）により、
CASIA2 の豊富な前眼部情報を左右眼同時にコンパクトに
要約した画面が閲覧可能となり、忙しい診察時間の
短縮をサポートします。



株式会社 トーメーコーポレーション

〒451-0051 名古屋市西区則武新町二丁目11番33号
TEL(052)581-5321 FAX(052)581-5626 URL http://www.tomey.co.jp

目の不自由な人のために 愛の光を…

公益財団法人
愛知県アイバンク協会



〒460-0008

名古屋市中区栄四丁目15番23号 ライオンズマンション久屋公園219

TEL (052) 263-0832 FAX (052) 263-0905

<http://www.aichieyebank.org/>

E-mail: info@aichieyebank.org



こちらに広告を掲載する企業様には、アイバンク事業に格別なご理解を賜り、
長年にわたり多大なご支援・ご協力をいただいております。



一柳葬具總本店は
映画「お終活 再春! 人生ラブソディ」を応援しています!

“笑って、泣けて、役に立つ”
人生百年時代 ゴキゲン・ムービー!

お終活再春!

人生ラブソディ

5月31日(金)
全国公開!

高畑 淳子 水野 勝樹 松下 由樹 大村 崑 鳳 稀かなめ 長塚 京三 橋爪 功



明治10年創業 伝統と実績

◆葬儀のお申し込み◆お問い合わせ◆事前相談は
TEL.052-251-9296
365日・24時間 一柳のスタッフが対応いたします!



株式会社 一柳葬具總本店

ISO 9001
品質マネジメントシステム
の国際規格
JQA-QM4191

本社 名古屋市中区栄三丁目14番11号 TEL (052) 241-0658 FAX (052) 263-1310
営業部 名古屋市中区千代田一丁目7番11号 TEL (052) 251-9296 FAX (052) 263-1361

新しい日本のおもてなし

つばめジャパントクシー



ユニバーサルデザインの次世代タクシー。車椅子のまま
ご乗車いただけます。お気軽にご利用ください。

ワンランク上の
おもてなし。
Tsubame Taxi Group

大人数でのお出かけに

つばめバス



人数と用途に合わせて、豊富なラインナップからお選び
いただけます。安全性優良事業者認定3つ星取得。

 **つばめタクシーグループ** ☎ **052-203-1212**

<http://www.tsubame-taxi.or.jp>

編集後記 コロナ禍明けになっても献眼・斡旋数は増えず、一方で物価の上昇に伴い諸経費が高騰し続け、経営的には大変厳しい状況が続いています。持続可能な事業運営のためには皆様のご支援・ご協力が不可欠です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(事務局)

**献眼の
連絡は**

愛知県救急医療情報センター
アイバンク窓口

TEL (052) 262-1100